



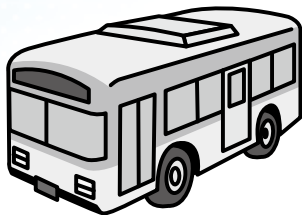
おおぐち しろう  
大口司郎 議員  
Oguchi Shiro

## Q. 他市町との ジョイント運行は

## A. 協議を継続していく

**Q** 他市町とのコミュニティバスのジョイント運行について、平成30年12月議会で一般質問をした。答弁後の進展と現況は、どの様になっているか。また、小牧市とはどの様な考え方を持っているか。

**A** 産業建設部長  
北名古屋市、小牧市とは、担当者レベルで話し合いを進めている。タウンバスと両市が運行する巡回バスがどこで接続すれば、双方にとってメリットが見い出せるかを検討している。また、現在策定中の第2次豊山町地域公共交通網形成計画においても、タウンバスと近隣市町のコミュニティバスとの接続を検討しており、引き続き、両市との協議を継続していく。



## Q. 中学校プールの 屋根の復旧を

## A. 適切に対応していく

豊山中学校が建設されてから半世紀以上経過している。また、体育館も平成7年に建て替えられ、屋上にテニス場とプールを持つ、中学校施設としては全国で例を見ない豊山町の誇りの施設である。

**Q** 本校舎南側玄関より西側廊下に多くのひび割れがあるが、建物の安全面はどうか。現在433名の生徒が学んでいる所での安心、安全の担保をどの様に捉えているか。

**A** 教育委員会事務局局長  
豊山中学校の廊下のクラックは、経年劣化や寒暖の変化で膨張収縮により生じたものと思われる。校舎西棟は、昭和47年と昭和51年の2期に

分けて増築されており、耐震補強工事を平成18年に実施した。平成30年度に、学校施設改築・長寿命化計画策定業務において校舎の現地調査を行い、その際、床のひび割れは認められたが、構造上の異常は認められなかった。なお、安全・安心な教育環境を確保する上で損傷が著しい箇所については、修繕が必要であると考えている。

**Q** プールの可動式屋根はいつ頃から可動しなくなったか。辛くも片面のみ可動では意味がない。毎年メンテナンスは行っているか。以前の様に復旧できないか。

**A** 教育委員会事務局局長  
中学校のプールは、平成6年度末に竣工し、南北に屋根が開閉する仕組みとなっている。

10年ほど前から、プール開閉装置の南側部分に不具合が発生、可動不能となった。それまでの開閉装置維持管理が十分ではなかったことが要因と思われる。

本件については、今後の学校施設長寿命化計画の中での検討課題と考え、その中で適切に対応していく。



▲プールの可動式屋根の復旧は

12月定例会

討議

審議結果

委員会視察

一般質問